

巡視船・航空機の緊急整備

巡視勢力の現状と背景

老朽化進行: 巡視船艇・航空機の約4割(巡視船艇129隻、航空機30機)が耐用年数超過
性能面の旧式化: 高速性、夜間搜索監視能力等

新たな業務課題

海洋権益の保全

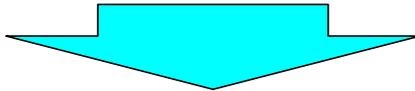


沿岸水域の監視警戒体制の構築

三大湾、重要施設の警戒等



大規模災害等における救助体制の強化



巡視勢力の刷新と新システムを活用した業務遂行体制強化

船艇・航空機の緊急かつ計画的
代替整備

高速化・操縦性能等向上した巡視船艇

航続性能・搜索監視能力等向上した航空機



・情報通信システムの整備
・船艇・航空機基地の整備

平成18年度概算要求

(巡視船艇)

- 1,000トン型巡視船 4隻
- 350トン型巡視船 6隻
- 30メートル型巡視艇 3隻
- 20メートル型巡視艇 8隻

(航空機)

- 飛行機 3機
- ヘリコプター 4機

のうち巡視船4隻・ヘリコプター3機(1機は17年度補正)を復活要求